

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年											
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~3日	11月 ~10日	11月 ~17日	11月 ~24日	12月 ~1日	
カンピロバクター	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	15	9	9	4	10	
病原性大腸菌	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	9	11	17	9	11	
腸管出血性大腸菌	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	0	0	0	1	
サルモネラ	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	1	2	1	3	0	
黄色ブドウ球菌 MSSA	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	1	1	3	1	0	
黄色ブドウ球菌 MRSA	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	2	2	1	3	1	
腸炎ビブリオ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	0	0	0	0	
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アデノウイルス	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	
ノロウイルス	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第48週(11月25日~12月1日)

#### 2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5		1	2			1	1
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	4	つつが虫病	2	1				1		
		レジオネラ症	2						1	1
五類	5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	1				1		
		百日咳	1	1						
		梅毒	2					2		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市  
● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり9.89人の報告があり、注意報レベル(定点当たり10.0人)に近づいています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が16件報告されており、増加しています。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)  
 第48週 A型:56人、B型:0人

2 マイコプラズマ肺炎

定点当たり4.83人の報告があり、前週と比べて減少しましたが、多い状況です。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

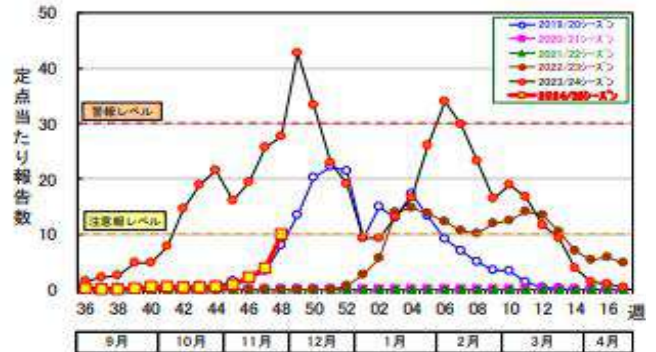
3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.31人の報告があり、前週と比べて増加しました。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

4 つつが虫病

1件の報告があり、今年の累計は3件となりました。山や草むらに入るときは、長袖・長ズボンなどを着用し、ダニ類の付着を防ぎましょう。また、帰宅後はすぐに入浴して身体をよく洗い、衣服も洗濯しましょう。

インフルエンザの流行状況(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号
インフル	インフルエンザ	356	9.89	7.13	↑	小児科	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.32	
	新型コロナ(COVID-19)	47	1.31		↑		流行性耳下腺炎	-	-	0.03	
小児科	RSウイルス感染症	9	0.39	0.20		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	6	0.26	1.18			流行性角結膜炎	7	0.88	0.33	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41	1.78	1.47	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	102	4.43	4.41	→		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	5	0.22	0.16			マイコプラズマ肺炎	29	4.83	-	↘
	手足口病	10	0.43	1.04	↓		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	2	0.09	0.18			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	5	0.22	0.18							

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)  
 増減 → (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)  
 微増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)  
 横ばい ⇄ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	つつが虫病	1	3	70歳代・市外
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	10	60歳代
5	梅毒	2	154	20歳代・2人